

## 第7期町田市介護保険事業計画 2019年度 進捗状況評価結果

### <目次>

1 主な取組の進捗評価結果一覧	1
2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果	1
3 主な取組の進捗評価結果(詳細)	2
基本目標 1 地域の支え合いでいきいきと暮らしている	2
基本施策1 地域ネットワークの充実	2
基本施策2 地域の支え合いと介護予防の推進	4
基本目標2 支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている	7
基本施策3 認知症の人にやさしい地域づくりの推進	7
基本施策4 在宅療養を支える医療・介護連携の推進	9
基本施策5 在宅高齢者とその家族の生活の質の向上	10
基本目標3 よりよい介護保険サービスを適切に利用できている	12
基本施策6 介護保険サービスの基盤整備	12
基本施策7 介護保険サービスの質の向上と適正化	13

## 第7期町田市介護保険事業計画 2019年度進捗状況評価結果について

### 1 主な取組の進捗評価結果一覧

基本目標	基本施策	取組の柱	主な取組	進捗評価	
1	1	(1)高齢者支援センターの機能の充実【重点】	① 高齢者支援センターの事業評価の充実 ② 地域ケア会議の役割の明確化	○ ○	
		(2)地域ネットワークづくりの強化	① 高齢者見守りネットワークの普及	○	
		(3)緊急時等の地域連携機能の強化	① 災害時の体制の整備・充実	○	
	2	(1)介護予防・生活支援サービスの創出【重点】	① 支え合い連絡会	○	
			② 地域活動団体型サービス	◎	
			③ 市基準型サービス	○	
		(2)自立支援・重度化防止に向けた取組	① 介護予防ケアマネジメント	○	
			② 短期集中型サービス	○	
	(3)地域における介護予防の場づくり	① 地域介護予防自主グループ支援 ② 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」) ③ いきいきポイント制度 ④ 介護予防サポーター養成事業 ⑤ 介護予防の普及啓発	◎ ◎ △ ◎ ○		
	2	3	(1)認知症の人やその家族の視点を重視した取組の推進【重点】	① 認知症の人やその家族の居場所づくり ② 認知症サポーター養成講座事業 ③ 行方不明高齢者家族支援サービス事業	○ ○ ○
(2)認知症早期対応・受診の支援の充実			① 認知症早期受診支援 ② 認知症相談支援	○ △	
4 (1)医療・介護連携の推進【重点】			① 医療・介護連携の推進	○	
5		(1)在宅高齢者とその家族への支援の推進	① 家族介護者教室・家族介護者交流会の開催 ② 高齢者あんしんキーホルダー事業	○ △	
			(2)在宅継続に向けた居住環境改善の支援	① 住宅改修研修会の開催 ② 高齢者住宅対策設備改修給付事業 ③ 住宅改修アドバイザー派遣事業	○ △ △
		6 (1)地域密着型サービスの整備促進【重点】 (2)多様な住まいや施設の確保	① 地域密着型サービスの整備 ① 介護保険施設等の整備	○ ○	
3		7	(1)介護人材の育成、確保、定着【重点】	① 介護人材開発事業の強化 ② 介護人材バンク機能の確立 ③ 多様な担い手の地域活躍推進	◎ ○ △
			(2)介護保険サービスの品質向上(事業所支援)	① 要介護度改善に伴うインセンティブ事業 ② 介護相談員派遣事業 ③ 福祉サービス第三者評価受審助成等事業 ④ 相談援助研修	△ ◎ ○ ◎
			(3)適切な介護保険サービスの利用推進	① 介護保険サービスの適正化事業の推進 ② 認定調査員への支援 ③ 介護保険事業者に対する指導・助言 ④ 介護保険制度の周知	○ ○ ○ ○

### 2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果

基本目標	基本施策	進捗評価の構成割合		
		◎	○	△
1	地域の支え合いでいきいきと暮らしている	28.6%	64.3%	7.1%
	1 地域ネットワークの充実	0.0%	100.0%	0.0%
2	2 地域の支え合いと介護予防の推進	40.0%	50.0%	10.0%
	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている	0.0%	63.6%	36.4%
3	3 認知症の人にやさしい地域づくりの推進	0.0%	80.0%	20.0%
	4 在宅療養を支える医療・介護連携の推進	0.0%	100.0%	0.0%
	5 在宅高齢者とその家族の生活の質の向上	0.0%	40.0%	60.0%
3	よりよい介護保険サービスを適切に利用できている	23.1%	61.5%	15.4%
	6 介護保険サービスの基盤整備	0.0%	100.0%	0.0%
	7 介護保険サービスの質の向上と適正化	27.3%	54.5%	18.2%
合計		18.4%	63.2%	18.4%

<凡例>

- ◎・・・計画以上に進んでいる
- ・・・計画どおり進んでいる
- △・・・計画どおり進んでいない

### 3 主な取組の進捗評価結果(詳細)

基本目標 1	地域の支え合いでいきいきと暮らしている
基本施策 1	地域ネットワークの充実

#### 取組の柱(1) 高齢者支援センターの機能の充実【重点】

計画書p.48

主な取組①		高齢者支援センターの事業評価の充実	
評価	指標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2018年度	継続	継続
	2019年度		継続
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・全国統一指標による事業評価と市独自の事業評価を併せて実施しました。</p> <p>・市独自の評価では、各高齢者支援センターに対してヒアリングを実施し、仕様書に基づいた業務の実施状況及び、支援センターごとに作成した事業計画の進捗と達成度について確認しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、全国統一指標による事業評価と市独自の事業評価を実施します。市独自の評価については、業務の更なる質の向上につなげるため評価項目の見直しを行います。</p>	
主な取組②		地域ケア会議の役割の明確化及び内容の充実	
評価	指標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2018年度	拡充	拡充
	2019年度		拡充
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・地域ケア会議運営ガイドラインに沿って、地域ケア推進会議を開催し、地域の課題抽出・検討を行いました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、地域ケア会議運営ガイドラインに沿って、より効果的な地域ケア推進会議の開催をすすめます。また、在宅医療・介護連携に関する地域ケア推進会議については、2020年4月に開設した医療と介護の連携支援センターが開催支援を行います。</p>	

#### 取組の柱(2) 地域ネットワークづくりの強化

計画書p.49

主な取組①		高齢者見守りネットワークの普及	
評価	指標	高齢者見守りネットワーク実施の町内会・自治会数(累計)	進捗評価
		目標値	実績値
	2018年度	54ヶ所	56ヶ所
	2019年度	56ヶ所	57ヶ所
	2020年度	58ヶ所	
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・新たに町内会・自治会で見守り支援ネットワークを1つ構築し、累計として57町内会・自治会で見守り支援ネットワークが実施されています。</p> <p>・市民に見守りの普及啓発を図るため、高齢者見守り活動普及啓発講座を27回実施しました。また、見守り活動を実施している市民に対し、市主催の研修会を開催しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、見守り活動を実施している町内会自治会への支援を行うとともに、地域で様々な取組を行っている自主グループにも普及啓発を行い、地域での見守りの目を広げていきます。</p>	

主な取組①		災害時の体制の整備・充実		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果	<p>・市内介護保険事業所等との災害時の連携強化に向けては、災害時情報伝達訓練を実施し、マニュアルの検証を行いました。また、市内介護保険事業所を対象にBCP(事業継続計画)・避難確保計画の策定支援セミナーを開催しました。</p> <p>・二次避難施設の円滑な開設・運営に向けては、新たに市内の特別養護老人ホーム1施設と協定を締結したほか、二次避難施設の開設・運営に関する協定書の見直しを行いました。また、二次避難開設訓練を実施し、発災から開設までの市と二次避難施設協定施設との連携について確認しました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・2019年度に検証した災害時情報伝達マニュアルについて、検証結果を踏まえ見直しを行う必要があります。</p> <p>・二次避難施設に関して、依然として要配慮者の受け入れ先は不足しており、引き続き二次避難施設協定施設拡大に向け取り組んでいく必要があります。</p>			

基本目標 1	地域の支え合いでいきいきと暮らしている
基本施策 2	地域の支え合いと介護予防の推進

取組の柱(1) 介護予防・生活支援サービスの創出【重点】

計画書p.51

主な取組①		支え合い連絡会		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・市全域での「町田市支え合い連絡会」を3回、「町田市支えあい連絡会移動支援分会」を3回実施し、地域課題について検討しました。</p> <p>・12高齢者支援センターで、地域課題の把握や解決を目的とした「支え合い連絡会」を109回実施しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・移動支援については、市内の事業所やボランティア等と協力して取り組みをすすめていきます。</p> <p>・12高齢者支援センターで把握された地域課題のうち、地域で解決可能な課題について、取り組みを進めます。</p>		
主な取組②		地域活動団体型サービス		
評価	指標	地域活動団体型サービス実施団体数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	44団体	71団体	◎
	2019年度	49団体	77団体	◎
	2020年度	54団体		
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・地域生活支援コーディネーターの声かけや広報での周知により、ボランティア、NPO、地域住民などが運営する「地域活動団体型サービス」に77団体(登録のみ24団体、補助金申請53団体)が登録に至りました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・生活支援コーディネーターの取り組みを中心に、「まちだ互近助クラブ(2019年度まで地域活動型団体サービス)」実施団体の発掘や、育成を行います。</p>		
主な取組③		市基準型サービス		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	拡充	拡充	◎
	2019年度		拡充	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・市基準型サービスの事業所数は、2019年4月1日時点で、通所型34、訪問型40でしたが、2020年4月1日時点では、通所型33、訪問型39となりました。</p> <p>・延べ利用件数は9,696件見込(通所型5,737件見込、訪問型3,959件見込)であり、前年度の延べ利用件数8,673件(通所型4,915件、訪問型3,758件)から増加しました。</p>		
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、事業所の指定を行うとともに、利用者に対し、利用促進を図っていきます。</p>		

取組の柱(2) 自立支援・重度化防止に向けた取組

計画書p.52

主な取組① 介護予防ケアマネジメント				
評価	指標	介護予防ケアマネジメントに関する地域ケア個別会議実施		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	市モデル実施	モデル会議実施	○
	2019年度	市と高齢者支援センターが実施	市と高齢者支援センターで協働実施	○
	2020年度	委託事業所(居宅介護支援事業所)も実施		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市と市内12カ所の全ての高齢者支援センターが協働し、会議を計10回(23事例)実施しました。</li> <li>・取組みの推進に向け、アドバイザーを募集し、新しく8名のアドバイザーの養成を行いました。</li> <li>・次年度からの支援センター主催の会議実施に向け、新任アドバイザーと高齢者支援センターを対象に研修会を実施し、会議の目的や留意点の共有を図りました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は地域ケア会議の機能の発揮に向け、圏域ごとに支援センター主催で会議を実施します。</li> <li>・また、地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが見学できる体制を整備し、取組みの推進を図ります。</li> </ul>		
主な取組② 短期集中型サービス				
評価	指標	目標達成率		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	75%	76%	○
	2019年度		77.6%	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内5圏域で5教室開催し、利用者51人中37名が3ヶ月間の運動トレーニングを通して、生活機能の維持・改善に向けた目標を達成しました。</li> <li>・当事業に携わるリハビリテーション専門職のスキルアップのための研修を実施し、サービスの質の向上を図りました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、リハビリテーション専門職と連携し、サービスの質の向上に向けた取組みを推進することで目標の達成率の向上(利用者の生活の質の向上)に繋がります。</li> </ul>		

取組の柱(3) 地域における介護予防の場づくり

計画書p.53

主な取組① 地域介護予防自主グループ支援				
評価	指標	介護予防に資する活動団体数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	256団体	294団体	◎
	2019年度	262団体	306団体	◎
	2020年度	268団体		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援センターにおいて、7教室(地域介護予防教室4教室、体操講座3教室)を開催し、教室終了時には9団体(地域介護予防教室4団体、体操講座5団体)の自主グループが立ち上がりました。</li> <li>・上記の新規立ち上げ団体に加え、既に活動をしている自主グループ3団体が介護予防に協力</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、自主グループの立ち上げや活動継続を支援していきます。</li> </ul>		
主な取組② 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)				
評価	指標	「町トレ」のグループ数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	72団体	119団体	◎
	2019年度	84団体	155団体	◎
	2020年度	96団体		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民向けのプレゼンテーションの実施や健康づくり推進員研修等での周知活動を行い、グループの立ち上げを希望する住民団体に対して立ち上げ支援(スタート応援講座)を実施し、新しく36団体が立ち上がりました。</li> <li>・また、町トレを実施している各団体へ継続支援を行いました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き町トレの周知に努め、希望する住民団体に対して立ち上げ支援及び継続支援を行います。</li> </ul>		

主な取組③		いきいきポイント制度		
評価	指標	登録者数、活動場所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	2,100人 242ヶ所	2,080人 243ヶ所	△
	2019年度	2,200人 247ヶ所	2,169人 245ヶ所	△
	2020年度	2,300人 252ヶ所		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録研修会を年間で15回実施し、新たに194名が登録しました。新規登録施設は15施設で、活動拠点が増えました。</li> <li>・スキルアップを目的とした登録者向けの研修会を1回実施しました。</li> </ul>			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の周知等を実施し、引き続き、高齢者のさらなる地域貢献活動・社会参加を推進します。</li> </ul>			
主な取組④		介護予防サポーター養成事業		
評価	指標	介護予防サポーター養成講座の修了者数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	935人	982人	◎
	2019年度	975人	1054人	◎
	2020年度	1,015人		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成講座を4期開催し、新たに72名の方が修了しました。</li> </ul>			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き養成講座を開催し、地域で介護予防の普及啓発ができる人材を養成します。</li> </ul>			
主な取組⑤		介護予防の普及啓発		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防に関する講演会を実施しました。(1回、302名参加)</li> <li>・「総合健康づくりフェア」において、保健予防課と協働し、ブース出展を行い、フレイルの普及啓発を行いました。(1回、609名参加)</li> <li>・介護予防月間地域型イベントを各高齢者支援センターで実施しました。(18回、延べ1113名参加)</li> </ul>			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、市民の方が介護予防への関心や意識を高め、ご自身や地域の健康づくりに楽しみながら取り組んでいただけるように、各種イベントでのPRや広報媒体等を活用した情報発信を推進します。</li> </ul>			

基本目標 2	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている
基本施策 3	認知症の人にやさしい地域づくりの推進

取組の柱(1) 認知症の人やその家族の視点をの推進【重点】

計画書p.57

主な取組①		認知症の人やその家族の居場所づくり		進捗評価
評価	指標	-		
		目標値	実績値	
	2018年度	拡充	拡充	○
	2019年度		拡充	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けに認知症普及啓発を目的としたイベントを開催し、479名の来場がありました。</li> <li>・スターバックスコーヒーの協力により市内9店舗で、認知症カフェを毎月1回開催し、921名の参加がありました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、認知症の人やその家族の視点を重視した認知症の人にやさしい地域づくりを促進していきます。</li> </ul>		
主な取組②		認知症サポーター養成講座事業		進捗評価
評価	指標	養成講座の累計受講者数		
		目標値	実績値	
	2018年度	26,000人	27,443人	○
	2019年度	28,800人	30,955人	○
	2020年度	31,600人		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を97回開催し、計3,512人が受講しました。</li> <li>・認知症サポーター養成講座の受講者が、認知症についての理解をさらに深めるための認知症サポーターステップアップ講座を2回実施し、42人が受講しました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての普及啓発を進めていきます。</li> </ul>		
主な取組③		行方不明徘徊高齢者家族支援サービス事業		進捗評価
評価	指標	行方不明徘徊高齢者家族支援サービス利用者数 ※取組名称の変更に伴い、指標名称を更新しました。		
		目標値	実績値	
	2018年度	75人	83人	○
	2019年度	80人	87人	○
	2020年度	85人		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等で事業の周知をするとともに、行方不明となった高齢者の家族に対して事業案内を行い、利用促進を図りました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、行方不明高齢者家族支援サービス事業の周知を行い、利用促進を図っていきます。</li> </ul>		

取組の柱(2) 認知症早期対応・受診の支援の充実

計画書p.59

主な取組① 認知症早期受診支援				
評価	指標	認知症初期集中支援チームが訪問した対象者のうち、適切な診断に繋がった対象の割合		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	30%以上	50%	○
	2019年度		64.2%	○
	2020年度	↓		
2019年度の具体的な取組・成果	・認知症が疑われる14名を支援チームで訪問し、そのうち9名が受診に繋がりました。また、チーム員が活動する上で参考となるよう活動事例を掲載する等、認知症初期集中支援チームガイドラインの改訂を行いました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、かかりつけ医や地域の医療機関との連携を促進するとともに、訪問継続中の方を受診に繋げる支援を行います。			
主な取組② 認知症相談支援				
評価	指標	電話相談件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	350件	165件	△
	2019年度		232件	△
	2020年度	↓		
2019年度の具体的な取組・成果	・認知症の専門相談窓口における電話相談は232件でした。また、高齢者支援センターで実施する医師による相談は210件、臨床心理士による相談は176件でした。			
課題および今後の方向性	・引き続き、認知症の方やその介護者に対する相談対応を行います。			

基本目標 2	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている
基本施策 4	在宅療養を支える医療・介護連携の推進

取組の柱(1) 医療・介護連携の推進【重点】

計画書p.62

主な取組①		町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの推進	
評価	指標	多職種連携研修会開催回数	
		目標値	実績値
	2018年度	2回	2回
	2019年度		2回
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を3回開催しました。</li> <li>・多職種連携研修会については、昨年度に引き続き在宅療養について市民向けに周知・啓発するイベントを開催し、189名の来場がありました。また、専門職向けに研修会を開催し、170名の参加がありました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」における各取組を通して、医療・介護連携を推進します。</li> </ul>		

基本目標 2	支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている
基本施策 5	在宅高齢者とその家族の生活の質の向上

取組の柱(1) 在宅高齢者とその家族への支援の推進

計画書p.65

主な取組①		家族介護者教室・家族介護者交流会の開催	
評価	指標	家族介護者教室・交流会開催数	
		目標値	実績値
	2018年度	教室24回 交流会72回	教室24回 交流会99回
	2019年度		教室23回 交流会116回
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護者教室を23回、家族介護者交流会を116回開催しました。家族介護者教室については、新型コロナウイルスの感染拡大リスクを考慮し、3月に予定していた1回を中止いたしました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者教室、家族介護者交流会を開催します。</li> </ul>		
主な取組②		高齢者あんしんキーホルダー事業	
評価	指標	年度内の新規登録キーホルダー数	
		目標値	実績値
	2018年度	2,800個	2383個
	2019年度		1696個
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町内会への働きかけや地域のイベントに出向いて登録会を行うなど普及啓発をし、1,696名の登録がありました。</li> <li>・総登録者数は、21,163名です。</li> </ul>		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、普及啓発を行い、登録者数の拡大を図ります。</li> </ul>		

取組の柱(2) 在宅継続に向けた居住環境改善の支援

主な取組① 住宅改修研修会の開催				
評価	指標	住宅改修研修会開催回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	2回	2回	○
	2019年度		2回	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果	・建築士に研修会の企画・運営を委託し、ケアマネジャー・高齢者支援センター職員向け及び施工業者向け住宅改修研修会を各1回開催しました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、ケアマネジャー・高齢者支援センター職員及び施工業者に対して研修会を実施することで、住宅改修制度や身体動作についての理解を深めます。 ・自立を意識した居住環境改善の支援や審査業務の効率化に向け、研修内容を検討していきます。			
主な取組② 高齢者住宅対策設備改修給付事業				
評価	指標	利用件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	110件	83件	△
	2019年度		74件	△
	2020年度			
2018年度の具体的な取組・成果	・高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、改修費用の一部を74名に対して給付しました。			
課題および今後の方向性	・今後も高齢者の在宅生活の継続のため、住宅改修研修会等を通じて、ケアマネジャー・高齢者支援センター、施工業者に事業の周知を行い、適切な制度利用を推進します。			
主な取組③ 住宅改修アドバイザー派遣事業				
評価	指標	訪問件数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	350件	212件	△
	2019年度		228件	△
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果	・有資格者(建築士、作業療法士、理学療法士)と住宅改修アドバイザーの委託契約を行い、高齢者が住宅改修を行う際に、適正な改修ができるように助言・支援を実施しました。 ・2019年度から、予防対象利用者の在宅継続に向けた環境改善支援を図るため、介護認定をお持ちでない方の住宅改修の申請については、住宅改修アドバイザーの派遣を必須化しました。			
課題および今後の方向性	・研修会等を通じて、ケアマネジャー・高齢者支援センター職員と住宅改修アドバイザーの良好な関係を構築し、住宅改修アドバイザーの利用を促進することで、適正な住宅改修を図る取り組みを続けます。 ・利用者の在宅継続に向けた環境改善支援を図るため、住宅改修研修会を受講していない施工業者による改修工事において、改修内容や費用が適正となるよう、住宅改修アドバイザー派遣必須化の検討をします。			

基本目標 3	よりよい介護保険サービスを適切に利用できている
基本施策 6	介護保険サービスの基盤整備

取組の柱(1) 地域密着型サービスの整備促進【重点】

計画書p.69

主な取組①		地域密着型サービスの整備促進【重点】整備		
評価	指標	①定期巡回・随時対応型訪問介護看護 整備数 ②小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 整備数 ③認知症高齢者グループホーム 整備数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度		①— ②2施設54人 整備運営事業者決定 ③2施設36人 整備運営事業者決定	○
	2019年度		①— ②1施設25人整備、1施設29人整備中 ③1施設18人整備、1施設18人整備中、 1施設18人整備運営事業者決定	○
	2020年度	①1施設 整備 ②4施設116人 整備 ③3施設 54人 整備		
2019年度の具体的な取組・成果		・本計画で整備予定とした8施設のうち、2施設の整備が完了しました。 ・整備運営事業者が決定していない4施設の公募を行い、1施設を選定しました。残り3施設については、再度公募を行いました。 ・再公募に際し、先着順とすることにより、随時募集で対応できるよう公募方法を見直しました。		
課題および今後の方向性		・選定した施設に対しては、引き続き、整備に向けた支援を行います。 ・公募中の施設については、随時、事業者からの相談に応じます。		

取組の柱(2) 多様な住まいや施設の確保

計画書p.70

主な取組①		介護保険施設等の整備		
評価	指標	介護老人保健施設 整備数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度		-	○
	2019年度		-	○
	2020年度	29人分 整備		
2019年度の具体的な取組・成果		・整備予定とした1施設について、施設整備を行う事業者を公募しましたが、応募はありませんでした。なお、事業者から公募に関する相談があり、対応しましたが、事業者側の条件が整わず、応募には至りませんでした。 ・再公募に際し、先着順とすることにより、随時募集で対応できるよう公募方法を見直しました。		
課題および今後の方向性		・公募結果を踏まえ、介護老人保健施設整備の必要性について、検討を行います。		

基本目標 3	よりよい介護保険サービスを適切に利用できている
基本施策 7	介護保険サービスの質の向上と適正化

取組の柱(1) 介護人材の育成、確保、定着【重点】

計画書p.74

主な取組①		介護人材開発事業の強化		進捗 評価
指標	研修参加人数	目標値	実績値	
評価	2018年度	1,500人	2,381人	◎
	2019年度		2,090人	◎
	2020年度			
	↓			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職面接会、市民向け講習会、介護従事者向け各種研修等を開催しました。</li> <li>・事業所のニーズに沿った研修を実施することで、大幅に参加人数が増加しました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の現場は慢性的な人手不足が続いており、研修や面接会について、介護保険事業所のニーズに応じた内容のさらなる充実が必要です。</li> </ul>		
主な取組②		介護人材バンク機能の確立		進捗 評価
指標	-	目標値	実績値	
評価	2018年度	拡充	拡充	○
	2019年度		拡充	○
	2020年度			
	↓			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材バンクの運用(就労相談、マッチング)とともに、市内各市民センター等で出張相談登録会を開催しました。また、多様な担い手の確保にむけて、女性や在住外国人を対象とした事業を実施しました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も介護の多様な担い手の確保や育成に向けて、重層的な体制づくりを進めます。</li> </ul>		
主な取組③		多様な担い手の地域活躍推進		進捗 評価
指標	①アクティブシニアの施設就労人数 ②まちいきヘルパーの養成人数	目標値	実績値	
評価	2018年度	①40人 ②86人	①60人 ②19人	○
	2019年度	①40人 ②28人(毎年度、まちいきヘルパーの必要数を調査し、目標を設定)	①30人 ②28人	△
	2020年度	①40人 ②毎年度、まちいきヘルパーの必要数を調査し、目標を設定		
	↓			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気高齢者の介護施設での就労促進にむけて、研修やマッチングを実施しました。また、更なる事業の推進のため、「入門的研修」を下半期に追加実施しました。</li> <li>※アクティブシニアの施設就労支援事業について、実施効果を検証した結果、2事業のうち1事業を継続実施とし、1事業は委託事業者が市の委託を受けずに継続実施することとなりました。そのため、市の事業としての実績値は減少しました。</li> <li>・生活援助に特化した「まちいきヘルパー」の養成研修を1回実施しました。研修最終日には就労に向けた取組みとして、訪問介護事業者の就職説明会が行いました。</li> <li>・養成研修受講申込者の拡大に向け、チラシ配布先の拡大や、小田急線町田駅にポスター掲示を行うなど、周知方法を工夫しました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブシニアを中心とした多様な担い手の育成について、今後も重点的に取組みます。</li> <li>・より多くの「まちいきヘルパー」養成に向け、引き続き、周知方法等検討していきます。</li> </ul>		

取組の柱(2) 介護保険サービスの品質向上(事業所支援)

計画書p.77

主な取組① 要介護度改善に伴うインセンティブ事業				
評価	指標	要介護度改善者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	150人	121人	△
	2019年度		141人	△
	2020年度	↓		
2019年度の具体的な取組・成果		・市内特別養護老人ホームへ要介護度改善を奨励し、介護職員向けの掲示物を対象施設へ配布するなどして制度の周知を図った結果、要介護度改善者数は昨年度比11名増、奨励金交付申請施設数は昨年度比3施設増(20施設)となりました。		
課題および今後の方向性		・本事業の効果検証のため、対象施設に対し2019年度の取組状況等に関するアンケートを実施し、課題を整理の上、適宜改善を施し取り組めます。		

主な取組② 介護相談員派遣事業				
評価	指標	派遣事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	35事業所	35施設	○
	2019年度	36事業所	48施設	◎
	2020年度	36事業所		
2019年度の具体的な取組・成果		・2019年度から事務局業務を外部委託することで、業務量を削減することができました。それにより新しい取り組みとして、有料老人ホームへの介護相談員の派遣を順次開始することができました。		
課題および今後の方向性		・引き続き事業を継続し、市内の施設サービスの質の向上を目指していきます。		

主な取組③ 福祉サービス第三者評価受審助成等事業				
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度	↓		
2019年度の具体的な取組・成果		・認知症高齢者グループホームを運営する事業所に受審費の補助を行いました。		
課題および今後の方向性		・福祉サービス第三者評価を受審する必要性の高い事業所に対して受審費補助を行います。また、市民への情報提供の拡充、市内の介護保険サービス事業所への福祉サービス第三者評価の受審促進を図ります。		

主な取組④ 相談援助研修				
評価	指標	相談援助研修修了者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	初任30人 上級50人	初任50人 上級54人	◎
	2019年度		初任68人 上級58人	◎
	2020年度	↓		
2019年度の具体的な取組・成果		・介護人材開発センターと共催し、ケアマネジャー向けに相談援助研修として、初任編(全3日間)と上級編(全5日間)の研修を開催しました。 ・初任編(全3日間)は、68名が研修を修了しました。 ・上級編(全5日間)は、58名が研修を修了しました。		
課題および今後の方向性		・研修会は、主任ケアマネジャーの推薦要件として町田市では定めており、引き続きケアマネジメントの質の向上を図るため、開催します。 ・毎年度、研修内容を見直し、より充実した内容の研修を実施します。		

取組の柱(3) 適切な介護保険サービスの利用の推進

計画書p.78

主な取組① 介護保険サービスの適正化事業の推進				
評価	指標	ケアマネジメント勉強会実施事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	60事業所	73事業所	◎
	2019年度		62事業所	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市で10事業所、高齢者支援センターで52事業所に対して、ケアマネジメント勉強会を実施しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、勉強会を中止したことにより、前年度と比べて実施事業所数が減少しました。</li> <li>・各圏域で年度当初に、勉強会で活用するリ・アセスメント支援シート作成の研修会を実施し、リ・アセスメント支援シートの記載方法や活用方法を再確認を行いました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援型ケアマネジメントを支援するために、今後も勉強会を継続します。</li> <li>・主に、新たに開設された居宅介護支援事業所を市での勉強会の対象としていましたが、2020年度から、区分支給限度基準額に近いケアプランを多く作成している事業所を抽出し、新たに開設された居宅介護支援事業所と併せて、市での勉強会の参加対象にします。</li> <li>・市への届出が必要となった一定回数以上の訪問介護(生活援助中心型)を位置付けたケアプランを作成した事業所に、勉強会の参加を促します。</li> </ul>		

主な取組② 認定調査員への支援				
評価	指標	認定調査員研修開催回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	9回	9回	○
	2019年度		9回	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定調査員新規研修(年2回)を実施し、認定調査での聞き取り項目について、定義の解説や認定審査会の見学を行いました。</li> <li>・認定調査員出張研修(年6回)を実施し、既に調査をしている方を対象に、調査方法や関連知識のフォローアップを行いました。</li> <li>・認定調査員現任研修(年1回)を実施し、認定調査に役立つ専門知識(聴覚障害)の講義を行いました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する認定申請に対応するため、認定調査員のさらなる増員を図るとともに、フォローアップを強化します。</li> </ul>		

主な取組③ 介護保険事業者に対する指導・助言				
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が指定権限を有する居宅介護支援事業所と地域密着型サービス事業所を中心に61件の実地指導を行いました。実地指導においては、適正な事業運営の確保とサービスの質の向上について指導・助言を行いました。</li> <li>・介護老人福祉施設運営事業者に対する集団指導を行い、事業者が遵守すべき法令、基準等について周知しました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービスの質の向上及び適正な事業運営が確保されるように、今後も実地指導及び集団指導を通して法令、基準等の周知徹底を図ります。</li> </ul>		

主な取組④		介護保険制度の周知		
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2018年度	継続	継続	○
	2019年度		継続	○
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果	<p>・広報まちだや、町田市ホームページに介護保険の各種情報を掲載(制度改正によるホームページの更新を5件実施。課内プロジェクトチームによる検討を行い、ホームページを見やすいものにするための更新を3件実施。)したほか、介護情報誌「ハートページ」を配布(12,000部)しました。また、資格取得者(65歳到達者、転入者等)へ介護保険被保険者証を送付する際、「介護保険のしおり」を同封し周知を図りました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・適正な介護保険サービスの利用が受けられるよう市からの周知だけでなく、介護支援専門員等の介護サービス事業者と連携して継続的に制度周知に努めていく必要があります。</p> <p>・サービスを受けていない方への制度周知について、ホームページ等を活用した広報活動が必要です。</p> <p>・資格取得者へ介護保険被保険者証を送付する際に、介護保険のしおりを同封し、介護保険制度の周知を図ります。</p>			